

令和2年度当初予算における事業改革の取組及び成果

行財政改革プランの取組は、No.欄を○数字で表記

行革大綱 (重点改革項目)	No.	取組事項	取組内容	効果等	部名	課名	財政効果額 (単位:千円)
財政規律の堅持	①	競輪事業臨時従事員数の適正化	投票所臨時従事員の退職者不補充による人件費削減	従事員(R1:193人 → R2:171人):▲22人 人件費 (R1:71,552千円 → R2:62,978千円) 財政効果額:▲8,574千円	行政部	競輪事業課	8,574
職員定数・給与の適正化	②	定員適正化計画の推進等	正規職員の会計年度任用職員化による、職員定数の適正化	会計年度任用職員化:▲10人 財政効果額:▲60,391千円	行政部等	人事課等	60,391
民間活力の活用	3	中央青少年会館への指定管理者制度導入	中央青少年会館の専門性を維持し、プログラムの質を担保しながら、事業効率性を高めるため、指定管理者制度へ移行	(予算額) R1:42,078千円 → R2:35,646千円 財政効果額:▲6,432千円	教育委員会	青少年教育課	6,432
必要性・費用対効果等を踏まえた事業等の見直し	4	一般競争入札等におけるガス調達への推進	都市ガス使用の施設を対象に、ガス契約を見直し、一般競争入札等にて対応することにより、経費を削減	東邦瓦斯標準価格と比較して、 財政効果額:▲28,745千円 ※入札実施施設:21施設	行政部等	管財課等	28,745
	5	ぎふメディアコスモス施設運営の見直し	「周年記念事業」・「市民自主事業」は規模を縮小し、「テニテオイルミナード」は廃止	(予算額) R1:17,500千円 → R2:6,800千円 財政効果額:▲10,700千円	市民参画部	ぎふメディアコスモス事業課	10,700
	6	その他	(1)補助金・負担金の見直し (2)プログラミング教育推進事業 (3)生ごみ堆肥化推進事業	(1)廃止・縮小 : 6,630千円 (2)契約の見直し: 5,687千円 (3)事業の見直し: 4,155千円 ほか	—	—	25,406
合計							140,248